

news.

プロバイダーの新規参入は第三ラウンドに突入。ジャストシステムが来年から始めるネットワーク事業は、単なるインターネット接続だけではない、新しいコンテンツワールドの構想だ。NTTはマルチメディア時代への具体的方策を発表、この夏からパソコン通信の利用に一部定額料金制が導入される。

ジャストシステムが「JustNet」開始 一太郎 Ver 6.3 にインターネット機能を搭載

ワープロソフト一太郎を開発・販売するジャストシステムが、来年1月から、ネットワークサービス「JustNet」(ジャストネット)をスタートする。

これは、インターネットの接続サービスを提供するだけでなく、WWWをベースにしたネットワーク上のバーチャル「都市」を建設しようという構想。ショッピング街や、バーチャルオフィス街をはじめ、イベントも展開できるコンベンションセンター、カルチャー関連のメディアコーナー、アウ

トドア施設情報、地域に密着したショッピング街、心理臨床サービスも導入する予定の医療ゾーンなど、JustNetを通じてさまざまなビジネス・生活が実際に展開できるようにする。こうしたネットワークスペースを形成するために不可欠なものとして、同社は日本語処理技術をあげている。

アクセスキットは、8月25日に発売予定の「一太郎 Ver.6.3 for Windows」に添付し、アイコンをクリックするだけでログインできるようにする。また、電子メールを簡

単に送信したり、一太郎で作成した文書をHTML形式に変える機能も付いてくる。

96年1月からの本格開始に先がけて、8月25日から東京にアクセスポイントを置き、実験サービスをスタートする。96年1月の開始時点でアクセスポイント50か所を予定。98年までに100万人以上の会員数を見込んでいる。

なお、ジャストシステムは、1.5Mbpsの回線を施設し、7月1日からWWWサーバーを開設する予定。まず、同社の最新ニュースや出版物の情報提供、一太郎の直販サービスなどを展開する。

URL <http://www.justsystem.co.jp/> (予定)

NTTがパソコン通信利用に一部定額料金制導入

前号のニュースで紹介した、NTTのデジタル専用線サービスの料金改訂案は、5月26日の電気通信審議会の結果、先送りになった。この結果、インターネット利用者にニーズの高い近距離64Kbpsの値上げは回避された。

*

NTTは、6月7日、昨年1月に発表した「マルチメディア時代に向けてのNTTの基本構想」の具体的な取り組みを発表した。

第一の柱として、従来の距離と時間に基づいた電話料金の見直しをにかけており、その一環として、パソコン通信の利用に限り、深

夜帯(午後11時から午前8時)に定額料金制を導入する。料金は、数千円程度になる予定で、今年の8月頃から、まず一般電話回線を対象に実施、続いて今年じゅうにISDN回線も対応する。これは、たとえば市内と隣接区域のアクセス番号に接続した場合に採用される。アクセス番号は、パソコン通信センター側で事前登録される。

この料金見直しの基本方針の1つとして、利用形態・利用時間・利用料金のボリュームなどに合わせて選択できる、料金体系のカスタマイズ化をあげている。今後、通信網の利用が多様化するにつれてさまざまな料金の選

択肢が用意されるだろう。

また、今回の発表のもう1つの柱は、コンピュータ通信の利用を前提とした「オープンコンピュータネットワーク」という新しい通信網の構築。既存のネットワークとは別の独立したものになるという。

さらに、今後導入を予定している新サービスの1つとして、平成9年度をめどに、インターネットプロトコルを使った(IPによりルーティングを行う)ネットワークサービスの提供をあげている。これは現在行われているNTTのマルチメディア共同通信実験でもすでに利用されている。

新規プロバイダーが3つ登場 大塚商会、ソニーシステムデザイン、スリーウェブ

6月1日からソニーシステムデザインがインターネット接続サービスを「Sinfony (シンフォニー)」の名称でスタートした。KDDのインターネット国際ゲートウェイサービスで米大手プロバイダーMCIと結び、国内では、WIDEプロジェクトと商用ネットワークサービスプロバイダーとの接続拠点である「NSPIXP」に接続、おもに企業を対象にサービスを提供する。

提供品目は、専用線接続が、デジタル64Kbpsから256Kbpsまでで、加入料金50,000円、月額利用料金は19万6千円から50万円と、富士通のInfoWebや東京インターネットの料金と同じになっている。また、INS64を使ったダイヤルアップサー

ビスでは、加入料金50,000円、同期64Kbpsの通信が月額15万円となっている。64Kbpsの2チャンネル分も利用でき、これは月額30万円。サーバーをソニーシステムデザイン社内で運用代行するサービスも用意している。アクセスポイントは、当面東京。今後2~3年中に40か所を計画している。

7月1日にサービスを開始するのは、OA専門商社の大塚商会。ダイヤルアップ接続に限ってサービスを提供する「-Web (アルファウェブ)」。まず、端末型のダイヤルアップは、初期費用20,000円、接続料金は月額固定20,000円。今後はドメインを自社内に持つことができるネットワーク型も提供する予定。このほか、1リスト1,000

円で運用できるメーリングリストの作成/運用サービスも提供する。アクセスポイントは東京を皮切りに、大塚商会の拠点がある大阪・名古屋に拡大していく。現在キャンペーン実施中で、ツールを提供し、初期費用は無料。また、パソコンとモデムとソフト、およびインストール接続確認まで含めたセット販売も行っている。

大阪市のスリーウェブも、7月から接続サービスを開始する。ダイヤルアップ接続は加入料20,000円で、月額利用料は15,000円。アクセスポイントは当初大阪、東京、神戸、京都に開設を予定している。問い合わせ

Sinfony : ソニーシステムデザイン(株)ネットワーク事業室 TEL03-5448-5528

-Web : 大塚商会 TNSC インターネットグループ TEL03-5280-5614

スリーウェブ TEL06-536-6731

GOL、IBM、スターネットが大幅に値下げ

グローバルオンラインジャパン(TEL03-5330-9380)は7月より個人向けダイヤルアップに入会金5,000円、契約料35,000円で時間無制限の年間契約制を導入。月契約は初期5,000円+使用時間により月額4,500円から13,500円までである。また、法人向け専用線接続も値下げした。同社ではアクセスポイントも大阪に新設したほか、回線を現在の128Kbpsから1.5Mbpsまで増強する。

一方、日本IBM(TEL0422-42-8625)が提供するダイヤルアップ接続は、6月から初期費用4,000円から2,000円に、月額基本料金が3,600円から2,000円に(3時間まで)、接続料12円/36秒から6円/36秒になった。また、専用線接続を提供するスターネット(TEL06-220-4445)も初期費用6万から5万に、月額利用料は35万から19万6千円、128Kbpsも55万円から32万円に値下げした。

アーキテック&アーツがオリジナルドメインサービス

アーキテック・アンド・アーツは、各社のダイヤルアップ接続やパソコン通信サービスを利用している人を対象に、独自のドメインを発行し、電子メールを使えるようにするサービスを8月1日からスタート。現在、無料で実験サービスを提供している。独自のドメインは、会社名などを反映させることができ便利だが、これまで専用線またはUUCP接続をしている人しか利用できなかった。このサービスはユーザーのドメイン名をアーキテック・アンド・アーツに接続されているものとして登録、このドメイン名宛のメールを同社のサーバーで受信し、ユーザー本来のメールアドレスに転送する。登録料3,000円、月額5,000円(アドレスは3個まで可能)。

問い合わせ アーキテック・アンド・アーツ
TEL03-3942-8246

テラネットが音楽サービスミュージックトレジャー開始

月額5,000円でダイヤルアップ接続と10Mバイトのディスクスペースを提供しているテラネットが、ミュージシャンを対象に、作品のプロモーションやマーケティングに利用できる新サービス「ミュージックトレジャー」をスタートした。

1作品につき2曲まで登録できる作品試聴サービス、定型書式にもとづいた作品紹介や活動告知、カセットテープ・CD・グッズなどの通信販売代行、アクセスデータの集計をまとめたマーケティングデータの印刷、週間のアクセスランキング紹介などが利用でき、月額使用料40,000円(継続利用の場合は次月から30,000円)。素材制作費は1アーティスト5,000円。オプションとして電子メールによるダイレクトメール送信もある。

問い合わせ テラネット TEL03-3796-6306
URL <http://www.trn.or.jp/>

Hot JAVA と WebSpace 新しい WWW ブラウザーに注目!

WWWの新しいブラウザーとヘルパーアプリケーションが相次いで発表された。1つはサンマイクロシステムズ社の『HotJava (ホットジャワ) ブラウザー』、そしてもう1つはシリコングラフィックス社の『WebSpace (ウェブスペース)』だ。いずれもWWWの新しい可能性を感じさせる。

WWWブラウザーがウィンドウシステムになる?!

HTMLで記述されたドキュメントを表示するという従来のWWWブラウザーの機能に加え、Javaというプログラミング言語を解釈して実行するインタープリターを内蔵したものがHotJavaブラウザーだ。つまり、クライアント側からサーバー側で用意されているプログラムを読み込み、HotJavaブラウザーがそのプログラムを実行できるのだ。HotJavaブラウザーのデモンストレーションとしては、すでに簡単な表計算やアニメーションが動くWWWページがある。

Java言語自体はオブジェクト指向の言語なので、C++を理解しているエンジニアでなければかなりの難物だろう。しかし、他のソフトハウスからオーサリング用の環境も提供される予定になっている。

ただし、サーバーからクライアントへ送信するプログラムやデータが従来よりも大きくなるので、ダイヤルアップなどの低速な回線を利用している人にとっては、転送時間がかかり、1ページを表示するまでに多少の時間がかかることになる。

このHotJavaの技術は米国サンマイクロシステムズ社が開発したもののだが、米国ネットスケープ社が自社のネットスケープナビゲーターにJava言語を実装することを発表している。WWWブラウザー市場で絶大

なシェアを持っているネットスケープナビゲーターがJavaを実装すれば、一気に業界標準になることが予想される。

現在のところ、ソラリス 2.x用とWindows NT用のバージョンが開発されており、サンマイクロシステムズ社のWWWサーバーからダウンロードすることができる。今後はMac用も開発する予定。

バーチャルリアリティへの道は険しい

一方、シリコングラフィックス社のWebSpaceは、従来のWWWブラウザーに組み込み3Dのグラフィックスを表示するためのヘルパーアプリケーション。注目すべきは描画した3Dの物体にURLを貼り付ける、つまりアンカーを作ることができること。その結果、ビューアーに表示されている3Dの物体をクリックすると別のWWWのページにジャンプすることができる。

この3Dのグラフィックスを描画するのに使われるグラフィックス記述言語が『VRML (Virtual Reality Modeling Language : バーチャルリアリティモデリング言語)』という。これはテキスト形式でポリゴンを記述していき、視点の移動や物体の移動・転回などはビューアがリアルタイムで演算して描画する。そのためかなりの演算が発生するので、メーカーの発表しているスペック上は486CPUでも十分利用できるということになっているが、実際はハイエンドのCPUを搭載したコンピュータでなければ、実用としてはかなりきびしい。

データ量もそれなりにある。たとえば小部屋の壁に絵画が何枚かかざっており、それを見て歩くというデモンストレーションでおおよそ2.7Mバイトになる。これだけのデータ量があると、日本で比較的多いと思



URL <http://java.sun.com/>



URL <http://www.sgi.co.jp/Products/WebFORCE/WebSpace/>

われる64Kbps程度のバンド幅では読み込むのにかかなり無理があると思われる。ただし、VRMLの記述によっては、データを分割しておき、必要に応じて読み込むオン・デマンド・ローディングの機能もある。

WWWの表現力の向上という点では、高く評価できるが、パソコンの処理能力と通信チャンネルの細さを考えると、今後はデータのバイナリ化などによりデータがより小さくなるということと、そして、3Dのグラフィックスという点で難しくなってしまうのだが、オーサリング環境が充実し、専門家でなくても容易にデータを作成することができるようになることを期待したい。実行環境は、IRISの他、Windows NT、ソラリス、Macなどへの対応も予定されている。

個人ダイアルアップ向け ネットスケープが米国で発売

米国ネットスケープコミュニケーションズ社は、ダイアルアップIP接続ユーザーを対象としたWindows対応のインターネット接続ソフト「Netscape Navigator Personal Edition」を発売。LAN版「Netscape Navigator」の機能を引き継ぎ、クアルコム社の電子メールソフト「Eudora Light」や、シバ社のクライアント用ソフト「ShivaPPP」などを加え、ダイアルアップIP接続に対応させたもので、MCIや、NET-COM、Portal、UUNETなど、米国の主要なインターネットサービスプロバイダーへ接続するための設定やサインアップを簡単にできるようにした。販売価格は39.95ドル。

電子メール info@netscape.com

URL http://home.netscape.com/showcase/personal_edition/

ノヴァが翻訳機能付き ネットスケープ発表

ノヴァは、英日翻訳機能をサポートしたインターネット用ソフト「NetSurfer/ejfor Windows」を8月上旬に発売する。価格は29,800円。この製品は、「Netscape Navigator」に同社が開発した翻訳機能を搭載したもの。Web中の読みたい英文を指定選択、指定ボタンを押すと対訳を表示する。日本語で英文レイアウトを再現することもできる。

問い合わせ ㈱ノヴァ TEL03-3351-3356



対訳表示モード

「FireWall-1」が バージョンアップ

フォーバルクリエイティブが販売する、インターネット上のセキュリティシステム「ファイアウォール」を構築するソフトウェア「FireWall-1」が機能アップ、Ver.1.2が発売された。

新バージョンは、GUIによる操作性を採用、ユーザー認証システムを統合化したほか、ユーザーのグループ化や認証期間の指定など、企業ユーザーに使いやすくなっている。また、サタンやIPスプーフィングなどの新しいハッキングにも対応した。販売価格は50ノード版が79万円、ノード無制限版の298万円、フルオプション版は628万円となっている。

問い合わせ ㈱フォーバルクリエイティブ
TEL03-5800-2831

電子メール info@forval-c.co.jp/
URL <http://www.forval-c.co.jp/>

ネットワーク関連ソフト 住友金属工業が発売

住友金属工業は、米国マカフィー社が開発したネットワーク管理ソフトなど5製品を発売した。発売したのはウイルス検出・除去ソフト「ウィルススキャン」(14,800円)、サーバー専用ウイルス検出ソフト「ネットシールド」(164,000円)、NetWare上でのパソコン資源情報管理ソフト「ラインベントリー」(109,000円より)、Windows環境のアプリケーション管理ソフト「ネットツールズ」(198,000円より)、ネットワーク環境のライセンス管理ソフト「サイトメーター」(109,000円)の5製品。このうちウィルススキャンはステルス型、ミュレーション型、暗号型に対応し、4,000種以上を検出、1,300種のウイルスを除去できる。

問い合わせ 住友金属工業㈱オープンシステム事業室
TEL03-5476-9825

日立東北ソフトウェアが インターネット用ソフト

日立東北ソフトウェアは、Windows対応のインターネットコミュニケーション支援ソフト「InternetPost」を開発、販売を開始した。このソフトはインターネットの電子メールやネットニュースを、パソコン上の簡単な操作で利用できるようにしたもの。電子メールの送受信機能やネットニュース機能、メッセージ管理機能、個人情報管理機能、送信転送機能などがあり、初心者でも画面に表示される操作メニューをマウスで選択するだけでインターネットのサービスが利用できる。また、メッセージ管理機能を利用すれば、電子メールを分類・整理したり、特定情報を含むメッセージの検索・ソートができる。価格は9,800円。

問い合わせ 日立東北ソフトウェア㈱情報システム営業部(古瀬) TEL022-266-5676

日本シスコシステムズが 低価格ルーター発売

日本シスコシステムズは、TA内蔵型のインターネット接続用低価格ルーター「Cisco1003」を発売、7月から出荷開始する。TA内蔵型のため、ISDN-BRIまたはIインターフェース高速デジタル専用線の直結が可能で、リモートオフィスなど小規模LANをインターネットへ接続するのに適している。最大4分の1のデータ圧縮をサポートしているほか、データ転送優先制御機能もサポートした。また、2Bchを束ねたバルク転送に対応していることやフラッシュROMカード用PCMCIAスロットの標準装備、ISDN上でもダイナミックルーティングを可能にするスナップショット・ルーティング機能の搭載なども特徴。価格は197,000円。

問い合わせ 日本シスコシステムズ㈱
TEL03-5211-2806

スワイヤトランステックが ダイヤルアップルーター発売

スワイヤトランステックは、米国テレビット社製ISDN BRI対応マルチプロトコルダイヤルアップルーター「NetBlazer LS ISDN」の販売を開始した。このルーターはテレビット社が従来開発してきたダイヤルアップルーターの機能を継承し、比較的小規模なサイトのために設計されたもの。ISDN BRIを標準でサポートしており、ターミナルアダプターを別途購入せずにISDNへ直結できるようにした。また、ISDN BRI以外のダイヤルアップ用に同期/非同期ポートも標準で1ポートをカバー。LAN側はイーサネット1ポートに合わせ、LocalTalkポートも標準装備している。価格は358,000円。

問い合わせ スワイヤトランステック情報通信機器部 TEL03-3230-9333
電子メール info@swire.co.jp

NECがISDN用TA 「AtermIT30」を発売

NECは、高速非同期通信ターミナルアダプター「AtermIT30」を発売した。

このTAは、ISDNによるパソコン通信の高速化をコンセプトに製品化したもので、モデムによる接続の手軽さはそのままに、モデムに比べて大幅なスピードアップと信頼性の高いエラーフリー通信や、クイック接続を実現している。通信速度は57.6 Kbps。

また、NetWareConnectなどモデム接続が可能なノベル製品で利用できるほか、WindowsNTの提供するRAS（リモートアクセスサービス）も高速で利用できる。価格は79,800円。

問い合わせ NEC第二パーソナルコミュニケーション販売推進部 TEL03-3798-7862
FAX03-3798-7859

HAテレコムが Mac専用FAXモデム発売

㈱HAテレコムは、Macintosh専用のFAXモデム「TelePort/Platinum」「PowerPort/Platinum」、およびMacintosh専用オリジナルGUI通信局構築アプリケーション「TeleFinder BBS 3.5 日本語版」を発売した。

FAXモデムは通信速度が28800bpsで、価格はオープン価格になっている。FAX通信ソフト「GlobalFax」日本語版が添付される。また、TeleFinder BBSは、サーバー間で、電子会議の構築や電子メールの交換できる。TCP/IP、ISDN、AppleTalkとモデムをサポート。PPPやTCP/IPドライバを利用することにより、インターネットで電子メール交換もできる。価格は128,000円。

問い合わせ ㈱HAテレコム開発部
TEL058-251-2101

情報化社会の未来像を探る 子供国際会議が今秋東京で開催

世界的な情報ネットワークとして提唱されているGII（Global Information Infrastructure）について、その利用法を子供たちに考えてもらおうと、国際会議「GIIジュニアサミット'95」が今秋東京で開催される。主催は同サミット推進会議（議長：山口開生NTT会長）で、会期は10月31日から11月3日まで。

GIIに関しては、今年2月にベルギーで開催された「G7情報通信関係閣僚会合」において、その実現に向けて積極的な議論が交わされた。しかし、インフラ整備の面からの議論が中心となり、インフラ上を流れるコンテンツ（情報の中身）のあり方や、利用者の立場からの議論が不足しているとの指摘がある。このため、GIIの将来のユーザーである子供たちに、既成概念や価値観にとらわれず自由な発想で意見を出し合

ってもらい、この議論を通して来るべき情報社会の姿を探ろうとの目的から、ジュニアサミットが開催されることになった。

サミットでは「地球救出作戦」をテーマに、戦争や貿易、人種、エイズなどの問題を解決するために地球規模の情報ネットワークをどう活用したらいいかを議論する。参加対象は世界各国の12歳から18歳までの男女で、科学、文化、社会、芸術、その他の5分野から1つを選んでまとめた英文論文により40名を選抜する。また、サミットでの議論の内容を充実させるため、9月から10月にかけて応募者全員参加によるオンライン会議も行う。応募の締切は7月31日。

問い合わせ
㈱CSK内GIIジュニアサミット'95事務局
TEL03-3340-1861
電子メール
junior-summit@corp.csk.co.jp

PMC通信サービス NTTが実験開始

NTTは、パーソナルハンディホンシステム（PHS）端末などを利用した「パーソナルマルチメディア通信（PMC）サービス実験」を武蔵野研究開発センターで開始した。PHS端末の移動性とデジタル通信の利点を活かした実験で、具体的にはモデムを接続して電子メールやFAXの送受信を行うほか、デジタル通信の特徴を活かして、WWWサーバーへの高速アクセスやデジタルスチール写真の伝送、移動型のビデオ・オン・デマンドサービスなどを実験する。また、1.5Mbpsのファイバー無線を用いたMPEG1方式による高速映像通信の実験も行う。このほか、ICカードを持ち歩くことで可能となる個人対応のネットワークサービスの実験も実施する。

問い合わせ NTT研究開発本部研究開発推進部 TEL03-3509-2461

ヴァージンアトランティック WWWで航空情報提供

英国のヴァージンアトランティック航空はWWWを利用して、路線網や運行スケジュールなどの情報提供サービスを開始した。提供する情報内容は、路線網 運行スケジュール アッパー、プレミアムエコノミー、エコノミーの各クラスのサービス内容 同社のフリークエント・フライヤー・プログラム「ヴァージンフリーウェイ」運賃情報の5種類。当面は情報提供だけだが、今後は「フリーウェイ」への入会や特典の引き出し、あるいは同社への意見や要望を受ける双方向のコミュニケーションも検討している。

問い合わせ ヴァージンアトランティック
航空日本支社マーケティング部

TEL03-3499-8838 FAX03-3499-8841

URL

<http://www.fly.virgin.com/atlantic/>

インターネットで語学講座 英会話のアルクが開講

語学関連の各種通信講座を運営するアルクは、インターネット活用のための語学力とコンピュータ知識を身につけるための通信講座「インターネットマラソン」を7月から開講する。この講座では、画面から必要な情報を瞬時に読み取るトレーニングや、インターネット独特の用語の修得、電子メールの書き方などを学習。教材には「コースガイド」と「インターネット・スターCD-ROM」が付いており、アクセスするための基礎知識が修得できる。また、インターネットへの接続は同社が運営するパソコン通信ネット「CATLine」を経由して行い、受講者は毎月3時間まで無料で接続できる。期間は6か月間、受講料は38,000円。

問い合わせ ㈱アルク マルチメディア開発室 TEL03-3323-9531

CD-ROMの通信販売 デザインが開設

WWWを利用したCD-ROM販売をデザインが開いた。「CD CLUB」と名付けたホームページを設け、一見の価値あるCD-ROMや自主制作のCD-ROMなど集めたCD-ROMライブラリとして販売するもの。クレジットカードで決済でき、その場で気に入ったCD-ROMを購入できる。

問い合わせ ㈱デザイン大阪オフィス

TEL06-452-4700 FAX06-452-5077

電子メール dizain@mx.meshnet.or.jp

URL <http://www.meshnet.or.jp/ibn/dizain/>



NECが仮想電子広場 The Cyber Plaza

NECは、マルチメディア時代の新たなPCオンラインサービスとして、インターネット上の仮想電子広場「The Cyber Plaza」(ザ・サイバー・プラザ)を開設、一部のサービスを開始した。この仮想電子広場はイベント広場、ショッピングモール、ビジネス街、官庁街、カフェテリア、遊園地、クラブ、世界と日本の広場、共通広場などで構成され、各種の見本市、展示会、コンテストに合わせて参加者へのサービスの向上を図るほか、放送会社などと連携した画像や音楽の提供、旅行代理店などと連携した旅行クラブの展開なども予定している。

問い合わせ NEC VAN 販売推進本部

TEL03-3798-6086

電子メール info@mesh.ad.jp

URL

<http://www.meshnet.or.jp/PLAZA/>

関西情報センターが 商取引の実験を開始

財団法人関西情報センターは、インターネットを用いた実験電子マーケットを開設、電子商取引の実験を開始する。同プロジェクトは、関西情報センターのWWWサーバー上にショッピングモールを開設し、参加企業にホームページを利用してもらうというもの。商品情報の提供だけでなく、実際に商品を販売することができる。参加企業は有料でWWWサーバーのハードディスクを使用、または同センターが運営するKIISネットに自社サーバーを接続する。ホームページの作成、コンテンツの作成・更新などは参加企業自身が行うのが原則だが、別途費用で同センターが代行することも可能。

問い合わせ 財団法人関西情報センター調査事業部 TEL06-346-2641

URL

<http://www.kiis.or.jp/>

芸術専門のホームページ アートジャパンが開設

芸術関連の企業研究会、アート・ジャパンのWWWホームページが開設された。アート・ジャパンは芸術専門のCS放送「アート・チャンネル」の創設(96年春に実験放送開始予定)に向けて、京都市内の番組制作会社や芸術家、大学教授などで組織する研究会で、その情報発信事業の一環としてホームページを開設した。芸術・文化関連情報を提供していくもので、ここで紹介する情報がCS放送の番組内容に発展することになる。公募したアート作品の紹介や、京都府内の博物館・美術館のイベント情報のほか、会員のアート作品のオークションも行う。

問い合わせ アート・ジャパン

TEL075-212-9905

URL

<http://www.express.co.jp/ALLES/ART-JAPAN/>

米ダイレクトソースの コンピュータ商品カタログ

米国製コンピュータのハードやソフトを安く手に入れられることで有名な通信販売会社、米国ダイレクトソース社の商品カタログがインターネットで提供されることになった。25,000品目が収録されており、各製品欄には日本までの送料を含めた価格が表示されている。カタログにアクセスした後、購入希望の商品が決まったり、商品についてのさらに詳しい情報を知りたい場合には、フリーダイヤル(0031-13-2222)を利用して問い合わせることもできる。日本語での対応が可能となっており、開設時間も日本のビジネスタイムに合わせている。問い合わせ ㈱インター・イメージ営業2部 TEL03-3407-8691

URL

<http://ds.wmedia.com/DirectSource.html>

エフエム京都とオムロンが 共同でインターネット実験

エフエム京都はオムロンと共同で、放送曲目などの情報サービス実験をインターネット上で開始した。実験は9月末まで行い、実験の成果を見たうえで本格サービスの実施を検討する。サービスする情報は、タイムスケジュール、放送局目、出演しているア・ティスト・DJのプロフィールのほか、ランキングや京都情報も提供する。当方は文字と静止画で提供するが、本格実施の際は音声や動画も加えるほか、双方向での交流も目指している。今回のサービスは放送番組を作る際にコンピュータで素材処理を行うため、オムロンの協力により番組制作と同時にインターネット向けの処理も行えるようにして実現している。

問い合わせ ㈱エフエム京都

TEL075-723-4116

インターネット・カフェ 京都市にオープン

京都市のファースト・サイバースペースは、コーヒーや紅茶を飲みながらインターネットを1時間単位で利用できるインターネット・カフェを開設、6月20日からサービスを開始する。1時間当たり800円(2時間以上2,000円)を支払えば、設置された15台のパソコンから自由にインターネットを利用することができ、コーヒーや紅茶は飲み放題。会員制で、入会金は200円。問い合わせ ㈱ファースト・サイバースペース TEL075-221-2707



九州山口ネットワーク会議 北九州市で開催

6月3日、福岡県北九州市の北九州テクノセンターで「九州山口ネットワーク会議」(後援:九州地域研究ネットワーク(KARRN)協会、協力:㈱北九州テクノセンター、九州工業大学、ヒューマンメディア創造センター)が開催された。九州各地域、そして沖縄県と山口県の組織から、インターネットへの取り組みなどについての報告があいづいだ。また、NTTのB-ISDNを使ったマルチメディア実験に参加している東海地域インターネットワーク協会の榊原智之氏がIRMN(インターリージョナルマルチメディアネットワーク)を説明。さらに、商用プロバイダーのアクセスポイントが少ない九州地域で大学、研究機関、企業も接続できる地方自治体主導のバックボーンを形成しようという提言もあった。

NetWorld+Interopで オンライン展示会

ソフトバンク・エキスポ・ジャパンは、7月17日から21日まで幕張で開催される「NetWorld+Interop '95 TOKYO」に付帯して、WWWによるオンライン企業情報提供サービス「N+I Online!」を7月3日から8月4日まで開設する。これは、インターネット上の仮想展示会というテーマで、昨年9月にアトランタで開かれたNetWorld+Interopで発表され、今年3月のラスベガスでのNetWorld+Interopで初めて実現されたもの。今回はWWWによりNetWorld+Interop '95 TOKYOのプログラムや出展社の紹介などのイベント情報を提供する。

問い合わせ NetWorld+Interop 95 TOKYO実行委員会事務局 TEL03-3288-7201

電子メール vshow@interop.co.jp

URL <http://www.softbank.co.jp/>(予定)

DEP'95 公募開始 ネットワーク企画も募集

ソニー・ミュージック・エンタテインメントが次世代の人材を発掘・育成するために行っているDEP(デジタル・エンタテインメント・プログラム)'95の公募が開始された。対象はエンタテインメントソフトのクリエイター。プロフェッショナルコースとアマチュアコースがあり、それぞれ作品部門と人物部門がある。人物部門は企画そのものの応募もOK。今年はインターネット上のソフトや企画も期待しているという。すべての応募者・作品を対象に「DEP BestAward」を決定、賞金100万円と制作・発表プログラムが授与される。

応募用紙の申し込み TEL03-3475-6900 FAX03-3475-7358

電子メール RGE00613@niftyserve.or.jp

URL <http://www1.sony.co.jp/>

InfoPlaza/SME/Gallery/

アップルコンピュータが 最新技術を使ったキャンペーン

アップルコンピュータ㈱は、近未来のコンピュータの姿を実現し、それによってもたらせるライフスタイルの姿を提案するキャンペーン「AppleMagic'95」を展開する。おもな催しは次のとおり。

テレビ特番「FutureMedia,Live'95」

7月18日火曜日、午後11時30分から深夜1時25分までテレビ朝日系列で生放送されるこの番組では、インターネット上で共同制作やテレビ会議ができるアップルの最新技術「QuickTime Conferencing」とWIDEインターネットを使い、著名人の討論やコラボレーションの実験を行う。番組中制作されたデータは翌朝新聞広告として掲載される。出演は村井純、久米宏、ゴア米副大統領ほか。

Apple Magic Town

東京では、6月24日、インターネットを使

える設備を常設したプレイスポット「Electronic Cafe Tokyo」を渋谷・道玄坂にオープンするほか、渋谷を中心としたCDメガストアにKIOSKを設置する。大阪では、「心齋橋BigStep」「阪急三番街」とタイアップしてアップルタウンを創出、QuickTime Conferencingを使って遠隔地と結んだイベントも展開する。

メディアキッズサマーキャンプ

国際大学グローバルコミュニケーションセンターと共同で主催する教育研究プロジェクトで、インターネットを使った国際間の学校交流を図っている「メディアキッズ」の夏合宿を、長野県上田市で予定。

以上のほか、6月22日よりWWWサーバーのホームページも開設する。

問い合わせ AppleMagic'95事務局

TEL03-5551-7865

NTTパワーネット インターネットでライブ

電話、FAX、インターネットでアクセスし、オフラインのライブとクロスさせるユニークなイベント「NTTパワーネット」が展開されているが、そのオフライン版「クラブヘテロPart1」が、5月22日渋谷ビームで開かれた。東京スカパラダイスオーケストラと高城剛のトークセッションのほか、NTTパワーネットのホームページへのアクセス体験コーナーも開設。「クラブヘテロPart2」は、7月2日午後6時から恵比寿ガーデンホールで開催される。入場申し込みはすでに締め切られているが、東京スカパラダイスオーケストラのライブの様子は会場からインターネット上へ流されるという。

URL

<http://www.ntt-ad.co.jp/ntt-powernet/>

TEL & FAX03-3663-7701

Networld+ Interop'95 SSDでインターネットのデモ

NetWorld + Interop Tokyoのイベントのなかでも、特徴ある企画として知られているソリューション・ショーケース (Solution Showcase Demonstration : 略称 SSD) は、テーマごとに各社が自社の製品を持ちより、統合化されたデモンストレーションで相互運用性を示すというもの。また、技術者とユーザー、または技術者同士の情報交換の場の役割も果たし、イベントの大きな目玉になっている。

7月17日から21日まで開催されるNetWorld + Interop'95 TokyoのSSDで予定されているテーマが決定した。ATM フレームリレー Fast イーサネット ネットワークOSとプロトコル、そしてインターネットである。

インターネットSSDでは、「パーソナルか

らビジネスまですぐに使えるインターネット」をテーマにしている。エルミックシステム、ヒューコム、富士通ミドルウェア、ヤマハ、日本ビューレットパックカード、ロータスなどの各社が出席を予定。各社のハード・ソフトを使って、スタンドアロンのパソコン、またはLANから会場に臨設されたネットワークサービスプロバイダーに接続する。ISDNを使った同期式64KbpsのダイヤルアップIP接続も予定している。

アナログによるダイヤルアップ接続では電子メールなどのアプリケーションを紹介、LANにはファイアーウォールがインストールされる。また、LANではインターネットに接続できるグループウェア、スタンドアロンのパソコンではWWWブラウザが用意される。さらに、ネットワークサービスプロバイダー側ではWWWサーバーを臨設。WWWサーバー構築のノウハウを提供する。

ガイナックスがイベントで インターネットを紹介

アニメーション・パソコンソフト制作会社のガイナックスが、ステラクラフトの協力を得てWWWサーバーを開設した。ガイナックスの作品や新番組の最新情報を流していく方針。

7月22日から23日に開催される同社主催のイベント「ガイナ祭」では、会場をインターネットで接続し、参加者にインターネットがどのようなものか体感できる企画を予定している。また、CU-SeeMeを使って会場からのビデオ映像も公開される。

問い合わせ (株)ガイナックス ガイナ祭係
TEL0422-53-5568

URL

<http://www.stellar.co.jp/GAINAX/>

取材・文：編集部、堀 悦夫

ノベル社、3次元ブラウザで 新たなインターネット市場の開拓へ

Interview : 編集部



情報アクセス及び管理グループ (IAMG)
エグゼクティブヴァイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー
スティーブ・マークマン博士

博士が担当されているプロジェクトについてお聞かせください。

私が担当する情報アクセス・管理グループには、ネットワークのインフラストラクチャーを構築するグループ、ネットワークとデスクトップマネジメント製品を開発しているグループ（インテルと共同開発もしています）、いわゆるシステムインテグレーションのサービスを行っているビジネスインターネットサービスグループ、そしてTCP/IPビジネスを担当しているグループなどがあります。

WordPerfect社やUNIX Systems Laboratories社との合併もあって、ノベル社のソフトウェアのラインアップはたいへん充実していますが、かえってその交通整理もたいへんではないのですか。

私が今のポストに就いて直面した課題は、それらの製品群をノベル社の全体的な活動とどう結びつけていくべきかという戦略を練ることでした。WordPerfectやGroupWiseなどが、他の製品とどう整合性を保っていけるのかということです。そこで私はユーザーの声をできるだけ多く聞く努力をしました。誰もが関心を持っていたのは予想通りダウンサイジングとコストの低減、労働者の技術レベルの問題、そして競争力の維持ということでした。また、世界市場の広がりの中で政府の規制にも関心を持っていました。これらの問題への効果的な対処法を考える中で我々が行き着いた答えは、ネットワーク上で安全にビジネスを行うしくみでした。インターネットの一部を構成しつつ、特にNetWareユーザーに向けたサービスを強化していくことにしたのです。

米国のNovell社は、現在世界で最も普及しているネットワークOSであるNetWareをはじめ、LAN WorkPlaceやLAN WorkGroup、UnixWareなど数々のLAN関連製品を開発、販売しているネットワーク業界のトップ企業である。WordPerfect社の吸収合併や自社製品のOEM展開、パートナー企業と積極的に技術提携を結ぶなど、総合的な事業展開を進めている。今回、アジア・太平洋地域の視察のためノベル社より来日したスティーブ・マークマン博士に、ノベル社のインターネット市場に向けての戦略についてお話を伺った。

パソコンのネットワーク接続率が22パーセントという日本でのLANの将来についてどう思われますか。

日本は有望な市場だと思いますし、最近のインターネットの盛り上がりには目を見張るものがあります。これはブームというよりもビジネスがネットワークにつながることの価値を見だしてきたからだと思えますし、要はよいソフトウェアがあるかどうかの問題です。ネットワークはビジネスの競争には不可欠のもので、日本人はビジネスの競争は得意でしょう。

WindowsNTや、発売が予定されているWindows95はノベル社のネットワークOSにとっては脅威ではないのですか？

市場自体が拡大していることもあります



写真1 Ferretの画面(オフィス)



写真2 Ferretの画面(都市)

が、何より我々の提供しているディレクトリサービスは他社にはないサービスであると自負していますので競争では負けることはないと確信しています。どこかが同じ事をしようとしても数年はかかるでしょう。特にインターネットの分野でその有効性が発揮されるものと思います。現在のところインターネットで情報を探するのは楽ではありませんし、セキュリティも十分ではありませんから。マイクロソフトもOS/2も、その問題には対処しきれないでしょう。我々はずっと先を歩み続けるつもりです。

インターネット関連の新製品について詳しくお聞かせいただけますか。

まもなく発表するのですが、LAN Workplace5.0ではノベルが技術提携をしているネットスケープ社のブラウザが添付されることになっています。

それから、インターネット市場で今年最も期待しているのが、現在開発中のCORSAIR(コルセア)というクライアント・サーバー型ソフトです。

クライアント側のソフトウェアはFerret(イタチ)という名前をつけました。このソフトウェアはNetWareクライアント上で稼働しますが、情報整理とネットワークへのアクセスを現実に近い3次元のユーザーインターフェイスで行うものです。

Ferretのコンポーネントの1つである「ユニバーサル・ブラウザ」は、NetWare4.1に

基づいたディレクトリ(住所録)サービスの検索エンジンを搭載しています。全世界の情報がただ1つのディレクトリで表わされるので、「ブラウザ」というより、検索した情報に直接アクセスするという感覚です。実際、ディレクトリというものが増えるほど、その価値は減っていくのですから、「1つだけ」というところに意味があるのです。

ご覧のようにネットワークのサービスは画面上の物体として表現されています(写真1)。たとえば、机の上の電話やメモ、地球儀やキャビットなどのアイコンをクリックするだけで、電話をかけたり、メールを書いたり、ニュース記事を読んだり、アプリケーションを起動したりできるわけです。

この画面を私たちは“MyWorld”と呼んでいるのですが、付属のソフトウェア開発キットで自分の好きな画像を使って、オリジナルのスクリーンを作成することもできます。ユーザーが、業務に応じて簡単に画面上のオブジェクトをカスタマイズできますから、大きな会社ならエレベーターを使って会社の他の部署へ移動するようにすることも自由です。このサンプル画面はオフィスの風景で、ノベルの創立者Ray Noorda氏の写真が見えますね。最近、最高経営責任者に就任したBob Frankenberg氏の写真に変えなければいけません(笑)。それも簡単です。今までの平面的なWWWのホームページを見慣れている方には、とても新鮮に映るでしょう。

今、インテル社と共同で、CNNのニュー

スをLANで提供する計画が進んでいます(と意味地球儀をクリックしたらニュースの音声が出てきた)。現在、新聞社や出版社にも呼びかけてネットワーク用にカスタマイズされた「インターネットのマガジン」を作ろうとしています。

今年中に発売を予定しているもう1つのコンポーネントが、NetWareとUnixWare上で動作する「インフォメーション・サーバー」です。人気の高いワードプロセッサのWordPerfectを使ってホームページを作り、WWW上で電子出版をすることができます。「インターネットパブリッシャー」という製品はWordPerfect用のツールですが、それでホームページを作り、Webサーバーに載せることも簡単です。しかも、NetWareサーバーそのままの高いセキュリティ機能を備えています。

オフィスの外へ出ると、実際の都市を模した3D画面になります(写真2)。たとえば、空港をクリックして旅客機のスケジュールを確認したり、飛行機を選んで座席を予約したりすることもできるようになります。

現在のビジネス社会はますます情報への依存度を深めています。そのための人材の育成・調達が追いつかない状態なのです。また、オンラインショッピングには高いセキュリティが保障されなければなりません。ですから、CORSAIRの販売ターゲットと考えているのはビジネスユーザーなのです。もちろん、そこから一般市場へも浸透していくでしょう。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp